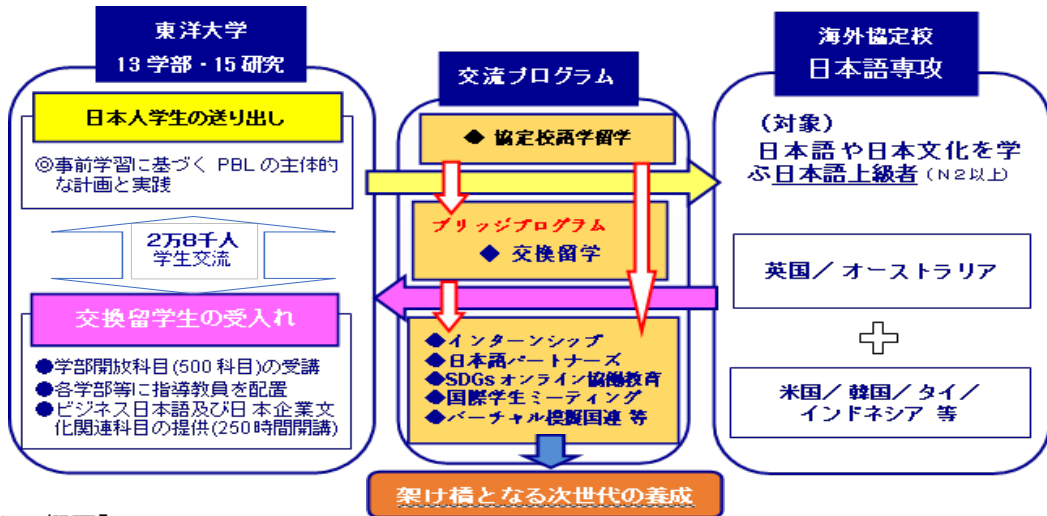


大学の世界展開力強化事業(2022年度選定) 東洋大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2022年度)

ビジネス日本語教育を通じた高度日本語人材と多文化共生グローバル人材の育成プログラム

【交流推進事業の概要】



【交流プログラムの概要】

(1)インバウンド留学(海外協定校の留学生):

交換留学のスキームで協定校の学生を2セメスター受け入れる。「高度日本語人材」の育成と位置づけ、JLPTのN2以上または当該大学の日本語専攻の長が推薦する学生で、将来、BJTビジネス日本語能力テストでJ1以上を目指す学生を対象とする。留学中は、インターンシップ、自主性を重んじた学生交流としてSDGs協働学修、国際学生ミーティング、バーチャル模擬国連等に参加する。

(2)アウトバウンド留学(本学の学生):

交換留学(ブリッジプログラムを含む)又は協定校語学留学のスキームで本学の学生を1セメスター以上送り出す。交換留学に限定しないことで留学機会を増やす。「多文化共生グローバル人材」の育成と位置づけ、留学中は当該大学の付属語学学校において英語またはその国の言語を学びながら、日本語専攻のクラスにおいて日本語パートナーとして授業補助と渡航前に計画したPBLを実践する。また、SDGs協働学修、国際学生ミーティング、バーチャル模擬国連等に参加する。

【本事業で養成する人材像】

本事業ではビジネス日本語学修を通して、或いは、ノンネイティブ(非母語話者)への日本語学修支援を通して、高度日本語人材並びに多文化共生グローバル人材を養成する。対象とするのは、海外協定大学の日本語専攻等において、上級(JLPTのN2相当以上)の日本語学修に取り組む学生である。日本人学生に対しては、留学先での日本語授業等でのサポート、PBLの実践および学生主体の共同プロジェクトやバーチャル模擬国連等への参画を通じて、異文化理解力、自文化理解力を向上させる。中長期的見地からは、日本企業、日系企業への人材誘致、国の内外の教育機関において日本語教育を担う人材、日本研究者等、異文化理解と自文化理解を踏まえた課題発見と解決能力を備えた人材を養成する。

【本事業の特徴】

「アジア太平洋大学交流機構(UMAP)国際事務局を務めた経験と知見をもとに、ビジネス日本語を通して高度日本語人材・多文化共生グローバル人材の養成を英国とオーストラリア、さらに、アメリカ・インドネシア・韓国・タイの諸大学と連携し実施するものである。地域を超えた複数の大学と連携して実施する「全学的な取組(13学部15研究科)」である。

また、JV-Campus構想の2つのプロジェクト(①UMAPを基盤とするSDGsオンライン協働学習とバーチャル模擬国連/②東洋大学「ビジネス日本語」オンライン講座を通じた高度日本語人材の育成)で幹事校を務めており、事業の中で蓄積される教育コンテンツをグローバルに展開していく。

【交流予定人数】

		2022	2023	2024	2025	2026
派遣	実際に渡航する学生	5	23	24	25	36
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	150	300	300	300	300
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	0	0	0	0
受入	実際に渡航する学生	13	20	20	20	30
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	190	295	293	292	290
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	0	2	3	5